

(13) 岸壁方塊積施工中

(13) Plac'ng Concrete Blocks for New Piers.

各岸壁の復舊工事

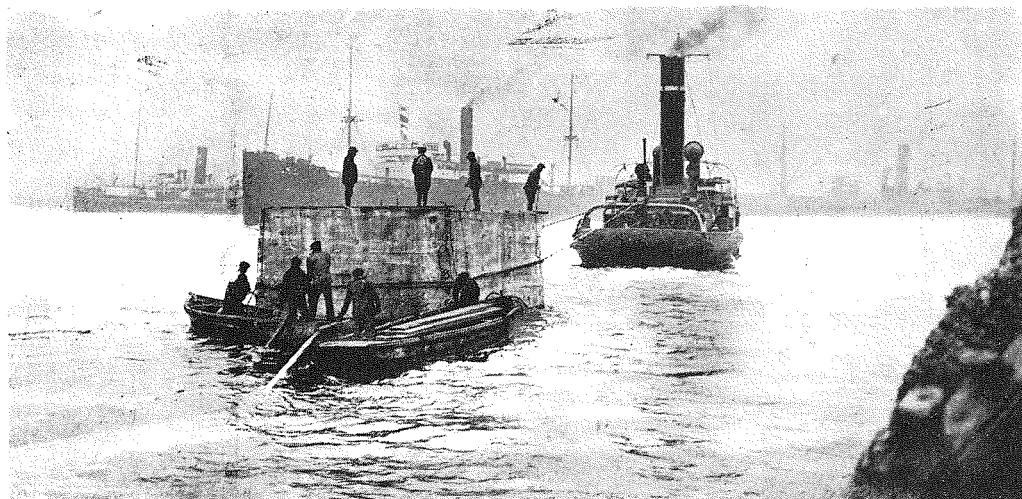
三號岸壁及五號岸壁の復舊工事は其延長、前者は七十三間七分、後者は五十七間五分にして、孰れも接岸船の便利を慮り新岸壁線に一致せしむる爲め、倒壊物全部を除却し、舊岸壁の殘存基礎を露出せしめ、隣接せる殘存岸壁との接續上、方塊及水中混凝土を以て其前面に補足し、其上に潜函又は無底函を据付け、上部工事を施行せること第四號岸壁に同じ。

七號及八號岸壁の復舊工事は延長合計百六十五間七分にして、三號及五號に於けるが如く、新舊岸壁線は全く一致せしめたり、此が爲め倒壊物は

全部除却し、殘存基礎上に潜函及無底函を据付けたり。

十二號岸壁の復舊工事は延長五十一間三分にして、新岸壁線は舊岸壁線より十間前進せしめたる爲め、倒壊物は全部放置し、新に海底を浚渫し、割石及混凝土を以て基礎を作り、其上に潜函を据付けたり。

物揚場及護岸は或は倒壊し或は滑出し、一こして損害を蒙らざるものなし、其復舊工事延長は新港及舊港を合せ八百五間五分にして、大體之を原形に復し、尙大棧橋接續地に於ては之に多少の改良を加へ、尙其東側は小蒸汽船による水陸聯絡の要地なるを以て、新に其海側に波除堤を築き以て之を掩護せんす。



(14) 混凝土潜函曳出し
 潜函總數 五十個
 一個重量 三百噸乃至四百六十噸

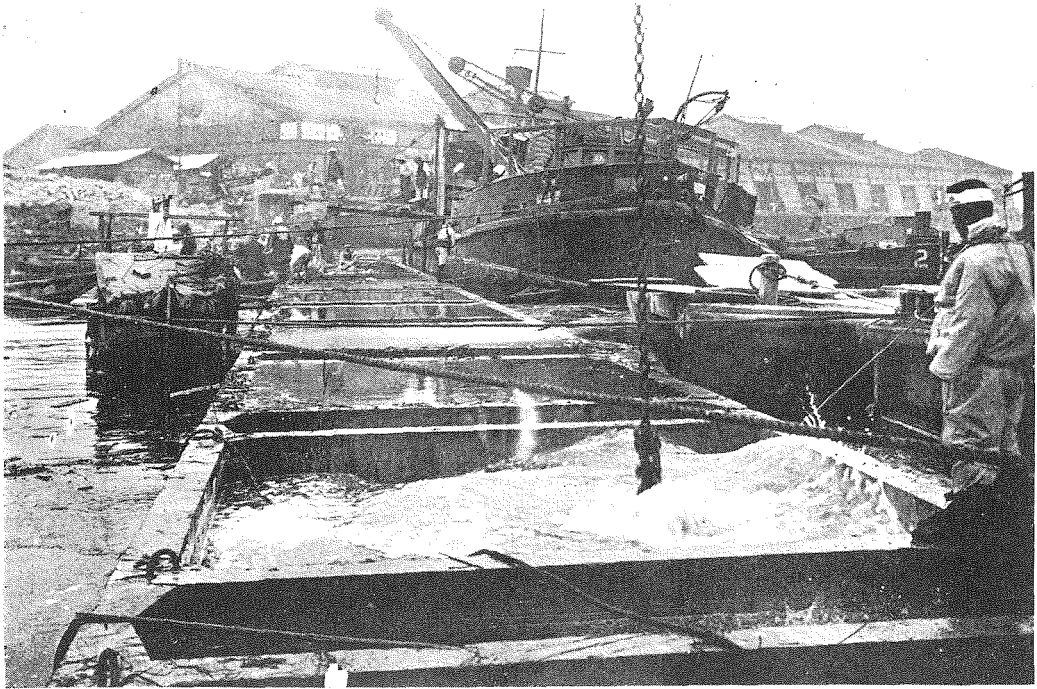
(14) Towing one of the 50 Concrete Caissons from the Asuno Dockyard. Average Weight of Caissons, 400 tons.

工事用材料の配給

工事材料の主なるものはセメント砂利木材及鐵材にして、震災直後に於ては、應急施設の爲め一般需用一時に起り、在荷拂底し延て價格の暴騰を來し、此が購入に頗る困難を感じたりしが、其後一時的の需用減退し、復興の諸事業未だ其緒に就かざりしを以て、此等諸材料の購入比較的容易なるを得たり、唯砂利に於ては一ヶ月約二千坪の供給を得るに頗る苦心せり、砂利産地は相模川最も便にして且つ比較的多量に之を採收し得べし、此を以て相模鐵道會社に之が供給を請負はしめ鐵道省に一日一回臨時列車の運轉を依頼し、辛くも一ヶ月約一千坪の砂利を得たり、然れども此れ僅に需用額の一半に過ぎず、而して陸方面よりは以上を得るの見込なきを以て、當時清水港修築工事の区域内にて浚渫する砂利の海路運搬を計畫し、運搬請負として約千五百噸の汽船一隻にて一ヶ月五回乃至六回往復せしめ一ヶ月約一千坪の供給を得たり。

傭人費と材料費

傭人料	延457,000人	1,516,060圓
木 材	5,500石	115,090圓
納入者	復興局其他京濱間當業者	
鐵 材	2,830噸	424,030圓
納入者	帝國製鐵所日本鋼管會社其他京濱間當業者	
砂 利	17,200坪	578,920圓
納入者	相模鐵道株式會社清水港浚渫砂利運搬	
砂	1,150坪	32,290圓
納入者	相模鐵道及株式會社橋本店	
セメント	107,150樽	615,980圓
納入者	淺野セメント株式會社	
混凝土潜函	50個	799,400圓
納入者	淺野船渠會社船渠内ニテ製作	
割 栗 石	2,730坪	129,440圓
納入者	相州堅石販賣組合株式會社橋本店	
裏詰土砂	18,380坪	117,200圓



(15) 底無ケーソンに水中混凝土施工中

(15) Placing Caissons.

港内掃海と漂流物

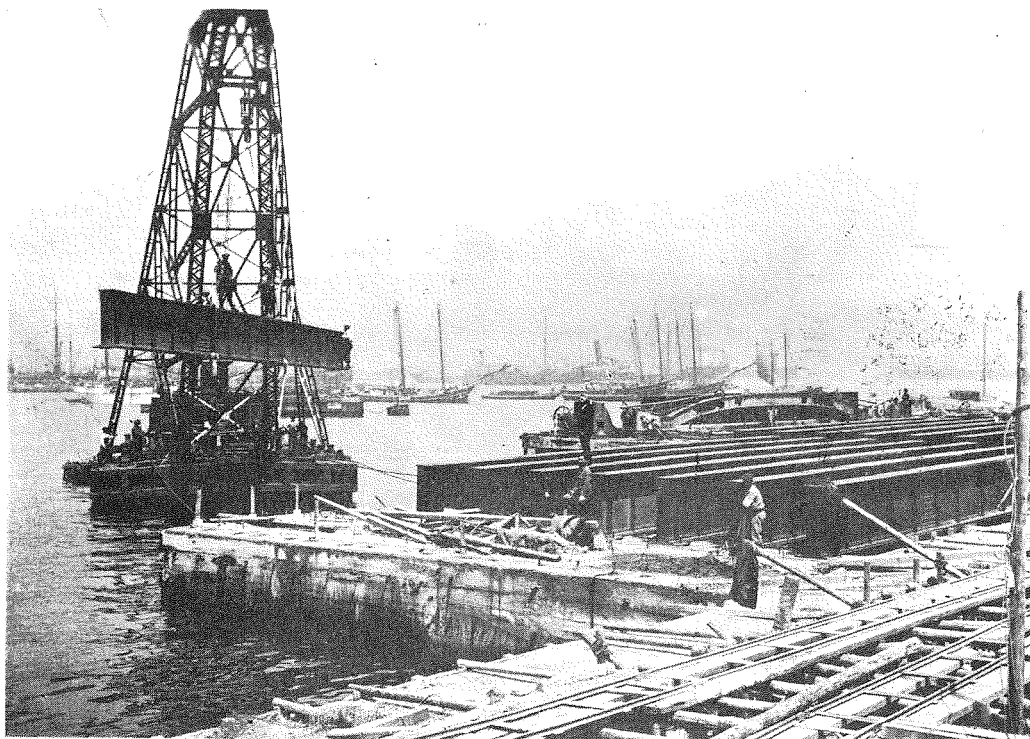
震災に續て起りたる大火災は陸上の可燃物を全部焼失烏有に歸せしめたるに止らず、尙船溜内に碇泊せる小蒸汽船舢舨等の殆ど全部を焼拂ひ、水面は此等空舟の殘骸によりて閉塞せられ、不燃性貨物を積載せる舢舨等の殘骸は水底に沈没し、船溜内の航行全然不可能なるに至れり、されば此が掃海工事は緊急を要するを以て、震災後間もなく之に着手し、船溜内最も必要なる個所は十三年二月を以て之を終へ、其後引續き之を施行し、同年五月を以て船溜内全部の掃海を了せり、左に引揚げたる小蒸汽船其他の數量を掲ぐ。

小蒸汽船 六 隻

發動機船	九 隻
舢舨	三百四十八隻
所有者にて引揚げたるもの	六十 餘隻
錨其他金物	三十一 噸

又船溜以外に流出し、港内に沈没せる舢舨等數多存在せる見込なるを以て港内の掃海亦急を要す茲に於て十三年五月より七月に至る二ヶ月間に港内百二十萬坪の掃海工事を施行し、其結果左記のものを發見之を引揚げたり。

發動機船	二 隻
空舢舨	十二 隻
貨物積載舢舨	二 隻
洋紙	八 個
日本錨	十六 挺
西洋錨	六 挺



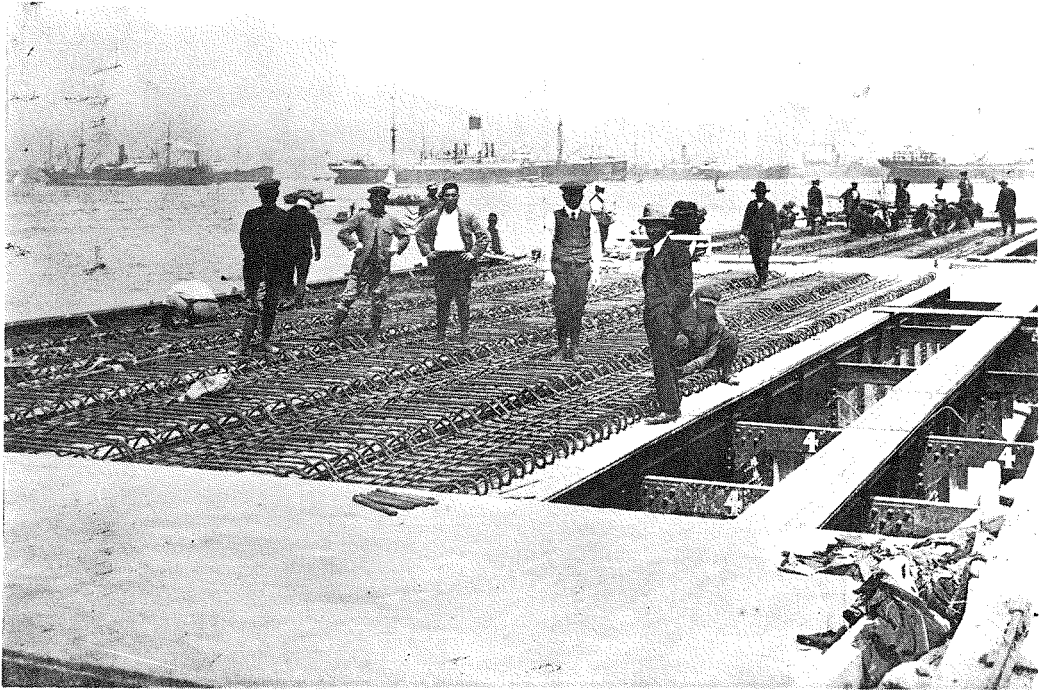
(16) 新に築造の横棧橋の橋脚上にガーダー敷設中

(16) Placing Girders for New Piers.

錨	鎖	二	連
鐵	管	五個	海底上七尺乃至八尺突出せるものあり。
ワイ	ア	一	個
マ	ニ	一	個
タ	ン	一	個
電	機	十	六
軌	條	十本	、海底より六尺突出せるものあり
鐵	材	五十本	、海底より七尺乃至十四尺突出せるものあり
木	材	三十五本	、海底より七尺突出せるものあり

横棧橋新設工事

九號、十號、十一號岸壁は全部倒壊せる岸壁中第一に復舊工事を施行せるものにして、工事の速成を期する爲め新岸壁線を在來より八間前進せしめ横棧橋に改築せり、即ち其延長二百十八間、幅八間、其水深は干潮面下三十尺及二十六尺にして十一間の間隔に二十基の橋脚を築き、各徑間に九本の鋼桁を架し、上部には鐵筋混凝土スラブを施行せり、橋脚の据付には先づ橋脚に當る個所の倒壊物を除却せざるべからず、此れ頗る難工事にし多くの工費と時間を要するものなり、横棧橋式を採用せる所以は實に此難工事を成べく少からしめんが爲めなり。



(17) 新に築造中の横棧橋のガーダー上にスラブ組立中 (17) Reinforcement of Pier Floor Slabs.

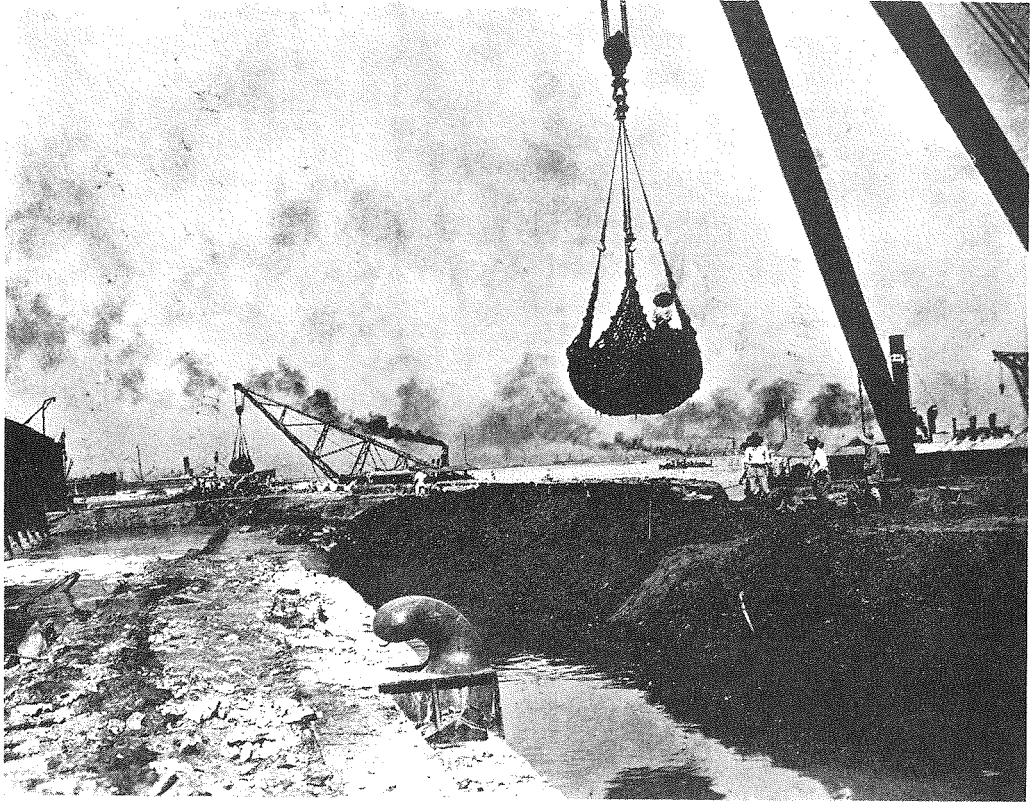
横棧橋の橋脚と鋼桁

方塊及場所詰混凝土の除却を了するや、残留する土砂を完全に掃除し、混凝土及割石を以て基礎を造り浅野船渠にて製造せる混凝土潜函（長二十七尺、幅十七尺、高三十三尺及二十九尺、重量三百噸及二百五十噸）を据付け、其内に混凝土を填充せり、潜函据付と同時に其後部在來の岸壁線に土留擁壁を築き、土留擁壁と潜函との間には潜函と同じ幅に水中混凝土を施行し、斯くして在來の岸壁線に築造せる擁壁より幅十七尺、長五十尺の橋脚二十基を突出せしめたり、橋脚工事の完了するや直に鋼桁架設に着手せり、鋼桁は豫め浦賀船渠會社に製造せしめたるものにして長五十五尺、高四尺、重量八噸半、一徑間に九本を要し合計百七十一本を使用せり、混凝土スラブは厚七吋半にして面積千六百坪に達す、本工事は十二年十一月六日に着手せしが、工事の困難なるに加ふるに従業

者未だ熟練の域に達せず、且つ工事の種類割合に多かりし爲め、其竣功は豫定より少しく遅るゝの止むを得ざるに至れり。

橋梁の被害と復舊工事

横濱港内に於ける橋梁は新港を聯絡する萬國橋及新港橋の二橋にして、孰れも激震後の猛火に襲はれ、歩道等の木部は總て焼失せしも、結構夫自身は幸ひ無事にして墜落の厄を免るゝを得たり、然れども橋臺の移動に伴ひ結構受臺の位置に變動を來し、此が復舊に頗る困難を感じたり、橋臺の震害は頗る大なるものあり、孰れも新港埋立地側のものに於て甚しく、被害の狀況は主に滑出及縦龜裂にして鐵材及混凝土を以て之を接續補強し、結構の受臺はジャッキを以て結構の一端を持上げ之を修理せり、本工事は新港橋は七月、萬國橋は八月に於て約一ヶ月間通行を禁止し、其間に大部分を復舊するここを得たり。

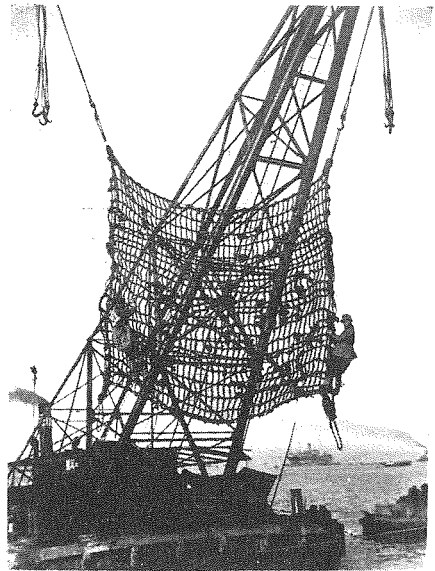


(18) 岸壁裏埋立一萬八千四百立坪

(18) Backfilling 147, 00 cu. yds.

重要なる使用機械

船舶機械の準備は工事施行上最も重要なるものなり、在來使用せる船舶機械の主なるものは大小運搬船三十隻、起重機船二隻、浚渫船五隻(内プリストマン三隻)、小蒸汽船七隻、混凝土混合機二臺にして、幸にして震災の厄を免れたりしが本工事施行の決定後、直に起重機船三隻、小蒸汽船一隻、プリストマン浚渫船二隻、大小運搬船三十三隻、混凝土混合機五臺を購入し、同時に他の内務省土木出張所より起重機船二隻、小蒸汽船三隻、混凝土混合機二臺、プリストマン一隻を借入れ、尚必要の場合は隨時當地にて民間より之を借入れたり、斯くして使用せる主要船舶機械は、起重機船九隻、小蒸汽船十二隻、浚渫船十一隻、(内プリストマン九隻)、大小運搬船六十五隻、混凝土混合機十三臺に達せり。



(19) 埋立に使用せる世界一の大罟、大き十七尺四方、土砂收容四百三十立方尺

(19) Largest Wira Hoisting Mat. Ever Used, 17' x 17'. Capacity, 16 cu. yds.